

千葉市自転車を活用したまちづくり推進計画（第2期）案について

計画（案）の概要

(1) 計画の位置づけ

千葉市

- ◆千葉市自転車を活用したまちづくり基本方針 (H28(2016年)2月施行)
- ◆千葉市自転車を活用したまちづくり条例 (H29(2017年)7月施行)

千葉市自転車を活用したまちづくり推進計画

- ◆第1期計画 (H30(2018年)3月～R2まで) ※地方版推進計画に位置付け、以降継続
- ◆第1期計画改訂版 (R3(2021年)8月～R4まで)
- ◆第2期計画（予定） (R5(2023年)4月～R14まで) ...実施計画（各種施策）を3年ごとに見直し

国

- ◆安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン (H28(2016年)7月)
- ◆自転車活用推進法 (H29(2017年)5月施行)

千葉県

- ◆自転車活用推進計画 (H30(2018年)6月～R2まで)
- ◆地方版自転車活用推進計画策定の手引き(案) (H30(2018年)8月)
- ◆第二次自転車活用推進計画 (R3(2021年)5月～R7まで)

(3) 第2期計画のポイント

自転車の特性

- ・手軽で便利、しかも安い
- ・楽しく、健康的
- ・環境にやさしい

本市の特性

- ・市域全体が平坦で走りやすい
- ・観光スポットが豊富
- ・車道の青い自転車レーンが増えてきた
- ・最寄り駅までの移動に最適

・街中では約5kmまでは自動車より早い！
(車は入庫に約7分かかる)

一方 **社会情勢の変化**

- ・環境負荷軽減への配慮
- ・健康増進意識の高まり など

「案：活用と利用促進」に関する施策の充実
「走：環境整備」「守：交通安全」は、よりきめ細やかに

『自転車の良さを改めて知ってもらい、更に利用してもらおう（意識醸成）』

生活が豊かに（自転車を活用したまちづくりの将来像）

- ・自転車を賢く活用し、便利で、健やかに心豊かな生活を楽しむことができるまち
- ・歩行者、自転車利用者、自動車運転者がお互いに思いやりを持ち、安全で、快適に移動できるまち

(2) 現状と課題

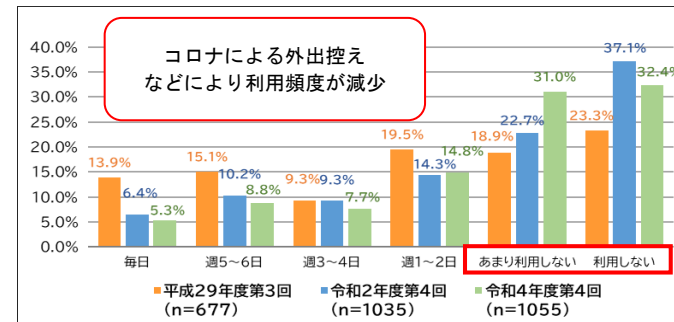
①自転車の特性と利用頻度

①-1 自転車の特性

- ・二酸化炭素の排出量がゼロであり、カーボンニュートラルの実現に貢献
- ・長期化するコロナ禍の中で、感染リスクの低い手軽な移動手段
- ・自転車通勤時などで、手軽に有酸素運動ができ、健康増進に寄与



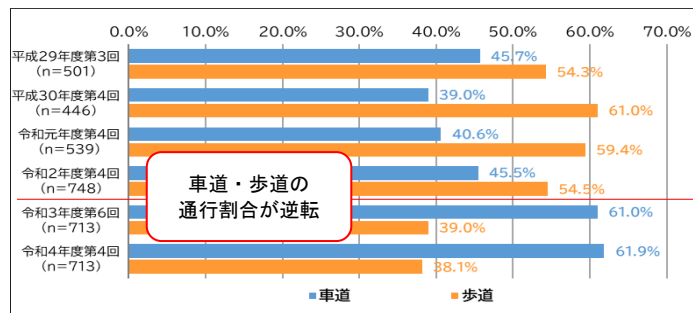
①-2 自転車の利用頻度の減少



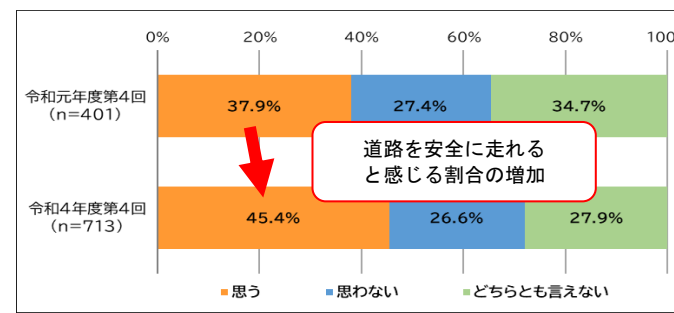
課題：コロナによる外出控えなどにより利用頻度が減少しており、環境にやさしく健康にも良い自転車の更なる利用促進が必要

②市民意識の向上と走行環境整備の必要性

②-1 自転車通行区分割合（車道・歩道）



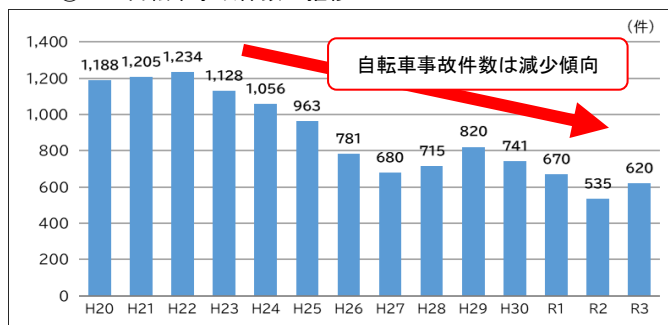
②-2 自転車は安全に走れるようになったか（WEBアンケート）



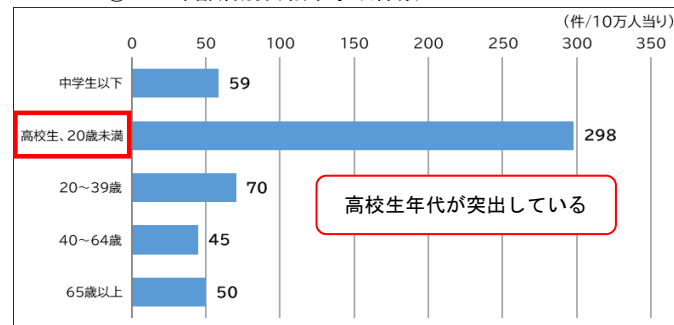
課題：市民意識は高まりつつあるが、まだ十分ではないため、自転車走行環境の継続的な整備を進めることが必要

③自転車事故件数と交通ルール、マナー啓発の必要性

③-1 自転車事故件数の推移



③-2 年齢層別自転車事故件数



課題：自転車事故件数は減少傾向であるが、高校生年代が突出しているため、世代に応じた交通ルール、マナーの継続的な啓発が必要

(4) 第2期計画（案）

①自転車を活用したまちづくりのコンセプト はじめよう、ちばチャリストイル！

「環境にやさしく、健康にもよい自転車を、楽しく安全に、自発的に利用する千葉市らしい生活スタイル」



楽 もっと楽しく！

自転車の活用と利用促進

施策1	自転車を活用したまちづくり
施策2	自転車イベントの誘致・支援
施策3	観光の促進
施策4	環境負荷の低減
施策5	健康の増進
施策6	都市交通の利便性向上

走 もっと走りやすく便利に！

自転車の利用環境の整備

施策7	自転車走行環境の整備
施策8	自転車駐車環境の整備

守 もっと安全に！

交通安全の確保等

施策9	自転車安全利用の促進
施策10	交通安全教育の推進

- 意識の醸成
 - ・幼児向けイベント、啓発リーフレット作成・配布
 - ・SNSを活用した動画などの情報発信
- 自転車利用を促進する施設整備・活用
 - ・千葉公園の再整備事業におけるパンプトラック（自転車やスケートボード等で走る凹凸の走行施設）の整備・活用
- 身近な自転車の拠点施設
 - ・コンビニに空気入れ、工具、スタンド等を貸与する
- 自主的な自転車利活用を促進する取組の支援
 - ・自転車通勤の推奨
- 自転車競技大会の誘致等
 - ・TIPSTAR DOME CHIBAでの国内外の自転車競技大会の開催、250競走（PIST6）の実施
- 花見川をはじめとするサイクリングコースの利活用
 - ・他自治体との連携強化、PR活動
 - ・花見川団地商店街との連携
 - ・カヤック等水辺のアクティビティとの連携
 - ・観光資源としての環境整備（距離標設置、マップ作成等）
- 自転車ネットワークの構築
 - ・ちばチャリ・すいすいプラン更新（連続性確保、エリア毎の特色反映）整備促進（自転車レーン整備、矢羽根設置）、維持管理、走りやすさマップ（自転車の拠点、観光等の情報やお勧めルートを追加）の更新
- 安全上の整備
 - ・安全性向上のため交差点内の通行処理方法の検討、モデル事業の実施
- 自転車ルール・マナー啓発
 - ・自転車保険への加入等の各種啓発活動
- ヘルメットの着用促進
 - ・イベントや広報媒体で周知・啓発、教育機関との連携
- 自転車の点検整備の促進
 - ・自転車の点検整備の必要性の啓発、点検ができる店舗の周知

- ・スケジュール
- 1月 パブリックコメント
- 2月 まちづくり連絡協議会
- 3月 策定・公表